

第33回ゆうゆうクラブハイキング

＜川崎市名所めぐり＞



第33回ゆうゆうクラブハイキングは、11月21日に23名の参加者で実施。生田緑地の美しい自然に囲まれた川崎市立「日本民家園」、その傍らに建つ「岡本太郎美術館」を訪れました。師走も近く、寒風が気がかりでしたが、当日はやや寒いながら晴天微風に恵まれ、紅葉が残る自然をゆったりと満喫することができました。

集合場所の小田急線「向ヶ丘遊園駅」から、徒歩25分で日本民家園に到着。急速に消滅しつつある古民家を永く将来に残すことを目的に、江戸から昭和初期に建てられた中部、関東、東北地方の民家23軒を移設した野外博物館である。木立の中に点在する古民家を各自マイペースで見学していきました。長い年月を経て自然に形作られた凸凹の広い土間や、床から萱葺きの天井まで全て黒色の空間、さらに静寂に包まれた独特の空気感に浸って子供のころにタイムスリップしたようでした。

その後、カフェでビールを飲みながらランチし、互いの近況を語り合いながら、和やかなひと時を過ごす。そして岡本太郎の作品寄贈によって設立された美術館に入り、独特な作品群を見てまわる。有名な大きな油彩画「森の掟」を鑑賞（写真の絵）。緑色のジャングルの森と真っ赤な怪獣、大きな口が獲物を捕らえ、なぜか怪獣の胴体にはファスナーがついている。目を凝らして見ていると不思議な感覚を覚えると共に、どこからこのような創作力が生まれるのだろうかと思いを馳せる。やはり、「爆発したのは芸術ではなく、岡本太郎その人」と言われる所以か。

最後に美術館前で集合写真を撮って解散し、それぞれ帰路につきました。

第1回ハイキングから17年経過し、着実に参加者の平均年齢は上がってきています。下見に訪れた際に、丘陵地帯なこと、古民家間の移動にかなり傾斜があって「昇り降りが結構キツイな」、「皆さん大丈夫だろうか」と心配したのですが、頑張ってお歩いてくださり無事に終えることができました。

（ゆうゆうクラブハイキング幹事 栃木 弘 記）



[ゆうゆうクラブへ戻る](#)